令和3年9月

中札内村議会定例会会議録

令和3年9月9日（木曜日）

◎出席議員（8名）

1番	木村優子君	2番	中西千尋君
3番	黒田和弘君	4番	大和田彰子君
5番	北嶋信昭君	6番	船田幸一君
7番	宮部修一君	8番	中井康雄君

◎欠席議員（0名）

◎地方自治法第121条の規定による説明のための出席者

中札内村長	森田匡彦君	教育長	上田禎子君
農業委員会会長	出羽義幸君	代表監査委員	木村誠君

◎中札内村長の委任を受けて説明のため出席した者

副村長	山崎恵司君	総務課長	川尻年和君
住民課長	高島啓至君	福祉課長	高桑佐登美君
産業課長	尾野悟里君	施設課長	成沢雄治君
総務課 課長補佐	渡辺大輔君	総務課 参事	山澤康宏君

◎教育長の委任を受けて出席した者

教育次長 阿部雅行君

◎農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 中道真也君

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 平澤 悟君 書 記 柴田 翔太郎君

◎議事日程

日程第1		会議録署名議員の指名
日程第2		議会運営委員会の報告
日程第3		会期の決定
日程第4		諸般の報告
日程第5		閉会中の所管事務調査報告
日程第6		村政・教育行政執行状況報告
日程第7	意見書案第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
日程第8	意見書案第6号	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
日程第9	請願第4号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願
日程第10	報告第3号	令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
日程第11	議案第49号	中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第12	議案第50号	中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第13	議案第51号	中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第14	議案第52号	中札内村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第15	議案第53号	中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第16	議案第54号	中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第17	議案第55号	土地改良事業計画について
日程第18	議案第56号	令和3年度中札内村一般会計補正予算について
日程第19	議案第57号	令和3年度中札内村介護保険特別会計補正予算について
日程第20	議案第58号	令和3年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について
日程第21	議案第59号	令和3年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算について
日程第22	認定第1号	令和2年度中札内村一般会計歳入歳出決算認定について
日程第23	認定第2号	令和2年度中札内村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第24	認定第3号	令和2年度中札内村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第25	認定第4号	令和2年度中札内村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

		について
日程第 2 6	認定第 5 号	令和 2 年度中札内村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第 2 7	認定第 6 号	令和 2 年度中札内村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎開会宣告

- 議長（中井康雄君） ただいまの出席議員数は8人です。
定足数に達しておりますので、ただいまから令和3年9月中札内村議会定例会を開会いたします。
ただちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（中井康雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、7番宮部議員と1番木村議員を指名いたします。

◎日程第2 議会運営委員会の報告

- 議長（中井康雄君） 日程第2、議会運営委員会の報告を求めます。
議会運営委員会が終了し、報告書の提出がありました。
委員長の報告を求めます。
宮部議会運営委員会委員長。

（宮部修一議会運営委員会委員長登壇）

- 議会運営委員会委員長（宮部修一君） おはようございます。
令和3年度中札内村議会9月定例会について、9月2日、全委員、副村長及び総務課長の出席のもとで、議会運営委員会を開催し、この運営について協議を行いましたので、その内容をご報告いたします。
今定例会への村長提案は、報告が1件、議案が11件、認定が6件であり、報告は、令和2年度健全化判断比率と資金不足比率の報告について、議案については、公平委員会委員の選任同意が3件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意が1件、教育委員会委員の選任同意が2件、土地改良事業計画が1件、一般会計及び特別会計の補正予算が4件、令和2年度決算に係る認定が6件となっております。
その他、村政及び教育行政執行状況報告がなされます。
また、議会提案等では、諸般の報告、閉会中の所管事務調査報告が1件、その他意見書案が2件であります。
請願等につきましては、請願1件が提出されておりますが、請願については、所管の産業文教常任委員会に付託します。
また、陳情が7件が提出されておりますが、資料配布といたしました。
会期につきましては、本日から17日までの9日間であります。
決算認定6件の審議につきましては、9月13、14、16日の3日間、本会議での審議をお願いいたします。
一般質問は、5名から5問の通告がありましたので、最終日17日での質問を予定してください。

また、産業文教常任委員会による農作物作況調査も同じく最終日17日の報告をご予定ください。

以上であります。会期中、質の高い政策論議での会議となりますよう、お願いし、協議内容についてのご報告といたします。

○議長（中井康雄君） 報告が終わりました。

◎日程第3 会期の決定

○議長（中井康雄君） 日程第3、会期の決定を議題にいたします。
お諮りします。

この定例会の会期は、本日から9月17日までの9日間にしたいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から9月17日までの9日間に決定いたしました。

◎日程第4 諸般の報告

○議長（中井康雄君） 日程第4、諸般の報告をいたします。

6月定例会以降、閉会中における議会の活動状況と監査委員の例月出納検査報告書については、印刷したものをお手元に配布いたしましたので、了承願います。

◎日程第5 閉会中の所管事務調査報告について

○議長（中井康雄君） 日程第5、閉会中の所管事務調査報告について、両委員会による合同村内所管事務調査の報告書の提出がありましたので、報告を求めます。

両委員会を代表して、中西総務厚生常任委員会委員長。

（中西千尋総務厚生常任委員会委員長登壇）

○総務厚生常任委員会委員長（中西千尋君） それでは、総務厚生常任委員会・産業文教常任委員会合同村内所管事務調査報告をいたします。

赤ナンバー3番をご用意ください。

総務厚生常任委員会と産業文教常任委員会は、今年度の第1回合同村内所管事務調査を8月19日に実施し、堆肥化処理施設及び大規模草地育成牧場の2カ所の管理状況について調査を行いました。

まず、堆肥化処理施設については、施設内通路及び発酵施設の管理状況について調査を行いました。

原料施設と発酵施設の間の施設内通路は、大型ホイールローダ等の横断が多いこと、路盤材が50センチメートルで、敷地全体が盛り土であることから、冬場の凍上の影響もあり、舗装の凹凸が激しく、特に原料施設前はかなり低くなっており、作業に支障が出ている状態にあることから、そのことを確認いたしました。

雨水桷の周辺についても、冬場の凍上等の影響により陥没し、現在は機能していない状況にあることを確認いたしました。

また、発酵施設の天井に設置しているタイトフレームが、腐食により落下し、今後も落下

が続く状況であることを確認いたしました。

今定例会に、施設内通路の修繕工事と発酵施設の応急的な修繕工事の予算を補正予算で計上したいとの説明を受けました。

施設内通路の修繕工事については必要であると考えますが、修繕工事の内容、方法を精査して、工事費の軽減に努めていただくことを望みます。

また、発酵施設の修繕については、人命にかかわることでもあることから、止むを得ないと考えますが、今後も適正な管理に努めていただくことを望みます。

大規模草地育成牧場については、パドックと堆肥舎間の通路の状況について調査をいたしました。

パドックと堆肥舎間の通路は、堆肥舎側が低く、堆肥舎との間に段差が生じており、現状では、糞尿をパドックから直接堆肥舎にホイールローダで押し出せない状態であることを確認いたしました。

今定例会に、通路のコンクリート路盤への改修工事と堆肥舎前の柵、ゲートの修繕工事を補正予算で計上したいとの説明を受けました。

今回の修繕工事は、大規模草地育成牧場の適正な管理には必要な修繕であると考えます。

また、今後も引き続き適正な維持管理に努めていただくことを望みます。

以上、合同村内所管事務調査報告といたします。

○議長（中井康雄君） これで合同村内所管事務調査の報告を終わります。

◎日程第6 村政・教育行政執行状況報告

○議長（中井康雄君） 日程第6、村政執行状況報告及び教育行政執行状況報告について、村長と教育長から申し出がありますので、これを許します。

はじめに、森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 定例会の開会に当たり、6月以降の村政執行状況の主なものについて、ご報告申し上げます。

以下、所管別に報告させていただきますが、一部印刷を持って配付させていただいておりますので、ご覧いただきたいと存じます。

はじめに、総務課所管事項について申し上げます。

総務グループについてですが、防災については、災害時の対応に備えて、避難所における授乳やオムツ替えなど、周囲の視線を気にすることなく屋内でのプライバシーを守ることが可能な防災用備品、プライベートルーム50個を購入しており、今後予定する総合防災訓練の中で活用してまいります。

非核平和の取組みについてですが、8月5日から8月22日まで、文化創造センターにおいて、広島平和記念資料館の協力のもと「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」を開催しております。

村表彰条例に基づく表彰について、村営住宅入居者選考委員として40年間の長きにわたり貢献された嶋村正二氏に自治功労表彰を贈呈するとともに、中札内剣道少年団の指導者として20年以上にわたりお務めになられた矢島隆司氏と納谷隆氏に教育功労表彰の贈呈を行っております。

消防団については、将来的な団員確保や入団促進、時代の変化に順応した組織運営を目指し、「中札内村消防団あり方検討会」を立ち上げ、各種課題や問題点について協議・検討を

行い、地域防災力向上に向けた取組みを進めてまいります。

次に企画財政グループについてですが、普通交付税は、7月に算定事務を終え、当初予算額に対し、2億1,531万4,000円増の18億2,254万6,000円となり、前年度交付税決定額との比較では、1億9,069万1,000円、11.7%の増額となっております。

また、臨時財政対策債は、当初予算額に対し、2,805万3,000円減の1億894万7,000円を限度に決定される見込みで、普通交付税と臨時財政対策債を合わせた前年度交付税決定額との比較では、2億1,908万3,000円、12.8%の増額となっております。

本村の普通交付税の増額要因としては、地域社会のデジタル化に取り組むための「地域デジタル社会推進費」が創設されたことや、法人税割の税率改正に伴う収入減により増額されたことが主な要因であります。

8月4日に村商工会及び帯広信用金庫と婚活支援に関する連携協定を締結いたしました。今後は、帯広信用金庫が運営する結婚相談所と連携しながら、出会いの場の提供を目指してまいります。

企業が地方自治体の地方創生の取組に対して寄附を通じて応援する企業版ふるさと納税についてですが、本村は今年度から国の認定を受けて募集を開始しており、このたび、札幌市に本社を置く辻木材株式会社から道の駅の改修により魅力向上を図るプロジェクトに対して寄附をいただきましたので、感謝状を贈呈しております。

第7期中札内村まちづくり計画の策定については、総合行政推進委員会による現行計画の村民評価と次期基本計画について審議を実施しております。

次に、住民課所管事項について申し上げます。

住民グループについてですが、中札内村立診療所の関係では、前年度より2カ年にわたる工期で進めてまいりました診療所内部の改修工事等が6月末に完了し、発熱外来者専用の待合室や点滴室、授乳室を新たに設けたほか、患者のプライバシー保護のための診察室の個室化、各室・待合ホールへのエアコン設置など、受診される方に配慮した改善等を行っております。

本年度からの指定管理移行に伴う施設整備が全て終了いたしましたので、村民の皆さまへ安心かつ安定した医療サービスの提供を今後とも心掛けてまいります。

有害鳥獣関係では、例年と同様に、猟友会帯広支部中札内部会の会員を鳥獣被害対策実施隊員に任命させていただき、有害鳥獣駆除に取り組んでいただいております。

7月末時点での捕獲・駆除の状況は、ヒグマ4頭、エゾシカ157頭、キツネ190頭、カラス490羽、ドバト397羽、アライグマ2頭となっております。

なお、本年度は全道レベルで熊の人的被害や目撃情報が例年以上に増加しており、本村におきましても同様に農作物への被害や情報が寄せられ、捕獲用檻や注意看板の設置、猟友会による巡視、情報無線での周知などを行っております。

熊の目撃情報が複数あり広範囲に及ぶことから、村民の皆さまには夜間の外出や単独行動を控えるなど、十分注意していただくようお願い申し上げます。

また、本年度も8月8日の山の日に帯広警察署と本村合同で、山岳遭難や人身事故、熊による被害防止を目的とした注意喚起の呼びかけを道の駅なかさつないにおいて実施しております。

次に、福祉課所管事項について申し上げます。

福祉グループについてですが、70歳以上の方を対象に、令和2年8月より事業を開始し

た、「高齢者民間バス運賃助成事業」は、8月25日現在239名の方が申請登録をされております。

実際の利用方法を理解していただくため、社会福祉協議会ボランティアのご協力をいただき、8月27日に「バス試乗体験会」を行い、計10名の方が参加されました。

村敬老会につきましては、昨年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催を中止いたしました。今年度は開催規模を縮小させていただき、数え年77歳の喜寿を迎えられる方、88歳の米寿を迎えられる方及び99歳の白寿を迎えられる方をご招待し、密を避けて感染症予防対策を講じた上で、9月15日に文化創造センターを会場に開催を予定しております。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金は、ふたり親世帯で住民税が非課税世帯を対象に、児童一人当たり5万円を11世帯に支給しております。

次に、保健グループについてですが、新型コロナウイルスワクチン接種の接種状況は、9月7日現在、65歳以上の方のうち、2回目の接種を終了した方は1,124名で、接種率は93.5%となっております。

また、64歳以下の方は、年齢を区切り順次予約を受付けてきましたが、7月29日より12歳から39歳までの対象年齢の方の接種予約を開始し、8月2日以降接種を開始しております。

9月7日現在、12歳以上64歳未満の方の1回目の接種者の数は1,964名で、接種率は82.0%ほどとなっております。

全対象者のうち、今後の予定接種者を含めた予定接種率は87.9%となっております。

接種を希望される村民の方のワクチンは確保できていることから、村内での感染拡大予防を目的として、村内事業所等に村外から通勤している方の予約を8月23日から受け付け、接種を行っております。

中札内村診療所におけるコロナワクチン接種体制は9月末で終了する予定となっております。

対がん協会による巡回健診の結果説明会を8月2日より実施し、対象者63名の方に対して、保健師と管理栄養士により健診結果と生活習慣病予防のための工夫について説明を行っております。

全村的な食生活の改善と健康増進を目指した「七色献立プロジェクト健康ポイント事業」は6月より開始し、8月25日現在、816名に参加・登録いただいております。

5月の緊急事態宣言により中止した「キックオフセミナー」の代替イベントとして、7月29日に文化創造センターにおいて「フォローアップセミナー」を開催し、51名が参加されました。

また、昨年度参加者から寄付していただいた「健康ポイント62万5,000ポイント」分を中札内中学校へ贈呈いたしました。

地元野菜を使用した特別限定メニューを提供いただく「七色野菜彩りプラス」は、8月から2カ月の期間で、村内の飲食店など12店舗に参加・協力いただき実施しております。

さらに、年中児以上の児童と保護者を対象とした「七色献立プロジェクト食育体験教室」は、8月21日に農協青年部など地元生産者のご協力のもと、枝豆・じゃがいも収穫体験、トラクター展示の説明などを行い、20名の参加者に楽しんでいただきました。

次に、保育園についてですが、夏のイベントである「七夕まつり」は、昨年度に引き続き、例年夜間に実施している盆踊りや花火を中止いたしました。父母の会のご協力のもと、日中の時間帯で出店などの催しを行い、子どもたちも季節の行事を体験いたしました。

「中札内きらきら保育園運動会」は、規模を縮小して開催しましたが、いずれも元気にのびのびとした子どもたちの姿や練習の成果を多くのご家族にご覧いただきました。

次に、産業課所管事項について申し上げます。

農作物の状況は、今年は5月以降、比較的好天に恵まれており、7月には気温の高い日が続いた一方で、降水量が著しく少なく、一部に干ばつ傾向もみられましたが、全体的に生育は順調に推移しております。

間もなく収穫期を迎えますが、今後も好天を期待し、順調な生育と収穫を期待しているところであります。

なお、小麦は収穫作業を終えましたが、収量については前年を上回る結果になると予想されております。

林業関係では、村有林整備工事として、下刈り16.33ヘクタールが完了しております。

商工業関係のうち、新型コロナウイルス感染症に係る経済支援関係では、5月16日から6月20日の間で発令された緊急事態宣言による時短営業等によって影響を受けた飲食店等の事業継続に係る固定的経費を支援する「飲食業光熱水費臨時助成金」については、既に申請受付を終えており、13事業者に対して374万7,000円を支給しているほか、「商工業家賃等支援臨時助成金」については、8月25日現在、7事業者に対して61万2,000円を支給しております。

また、事業者が取組む感染予防や販売促進に対して支援を行う「商工業プロモーション推進事業」は、5事業者が申請し、141万7,000円の交付決定しているほか、村内宿泊業者を支援する「泊まろう中札内村宿泊費助成事業」も4月以降277件、95万5,000円ほどを支出しております。

このほか、中札内村商工会では6月27日から7月24日の期間で「飲食店応援緊急スタンプラリー事業」を実施し、多くの方に村内飲食店を利用してもらうことで、飲食業を支援する取組みを行っております。

観光関係では、例年7月第1日曜日に開催していた「ピョウタンの滝やまべ放流祭」は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、今年度も開催中止といたしました。

また、札内川園地は4月24日に開園いたしましたが、緊急事態宣言の発令により、5月16日から6月20日までを閉園としたこと及び外出自粛等の影響により、7月末現在、前年同月比で17.6%の減となっております。

道の駅は、7月末時点の利用者数は前年同月比で25.3%増の約26万5,000人となっており、回復傾向にはありますが、新型コロナウイルス感染症の蔓延前の令和元年度と比較すると27.5%の減となっております。

日高山脈国定公園の国立公園化に向けては、村民主体によるPR事業を行うため、公募委員で構成する国立公園化PR事業実行委員会を6月11日に設立し、8月12日には小学生以下を対象として「札内川ダム散策と流木アート制作」の体験事業を実施いたしました。

子どもたちに日高山脈及び札内川上流地域に関心を持ってもらう取組みを実施しております。

今後も、実行委員会では大人向けの散策ツアーや各種講演会を企画し、多くの村民の国立公園化に対する関心が高まるような取組みを進めてまいります。

役場庁舎移転後の跡地及び改善センターの利活用によるまちなかにぎわいづくりについては、7月21日に無作為に抽出した委員と公募の委員、合わせて44名の方に参加いただき、パブリックキッチン構想村民座談会を開催したところであります。

座談会では、パブリックキッチン構想や跡地等の利用について、多くの意見をいただきま

したので、今後は、意見を考慮しつつ、村の考え方をまとめてまいりたいと考えております。
花づくり関連では、例年7月末に実行委員会主催により実施しております「道の駅ガーデン」も、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、昨年度に引き続き、開催は中止となりました。

次に、施設課所管事項について申し上げます。

道路維持関係では、村道の草刈作業及び支障木枝払いなどのほか、定期巡回点検を行いながら随時補修などを実施し、良好な道路維持に努めております。

公園関係では、鉄道記念公園の実施設計に向けて、村民の声を生かすためのワークショップを、7月29日と8月26日の2回開催し、多くのご意見をいただきました。

定住対策では、中札内スタイル住宅建設奨励対象として2件、移住促進奨励対象として5件を認定するとともに、民間賃貸住宅家賃助成では、新たに4件の認定を行っております。

また、合併処理浄化槽設置整備事業では、2件の補助金の交付決定を行っております。

村営住宅入居関係では、第1回目の公募で3件、随時募集住宅で3件の入居決定をしております。

主な工事の発注状況ですが、村道西戸蔦・東戸蔦40号道路路盤再生舗装工事、桜六花公園駐車場整備工事、中央団地ストック改善工事、中札内浄化センターの計器盤更新工事、計装設備更新工事、床排水ポンプ外更新工事の発注を終えております。

以上、主要事項について申し上げ、報告に代えさせていただきます。

○議長（中井康雄君） 次に、上田教育長。

（上田禎子教育長登壇）

○教育長（上田禎子君） 定例会の開会にあたり、6月村議会定例会以降の教育委員会所管事項の主なものについて、ご報告させていただきます。

はじめに中札内高等養護学校における新型コロナウイルス感染についてですが、8月31日に教職員1人の感染を受け、学校を臨時休業し、教職員・生徒に対してPCR検査を行ったところ、9月4日までに新たに3人の感染が発生しました。

陽性者は、4人とも村外在住者で、養護学校は感染拡大防止のため、9月15日までの予定で臨時休業といたしました。

次に村立学校教育の状況では、新型コロナウイルス感染症予防対策により、制限の多い学校生活となっておりますが、創意工夫を凝らして、例年と同様な行事や活動に取組んでまいりました。

ICT教育の関係では、ギガスクール構想により導入したタブレット端末の活用を進め、夏休み中の活用について保護者から同意書をいただき、上札内小学校においては自宅に持ち帰り、家庭学習などに取組み、中学校3年生も英語を中心とした学習の取組みを行うため持ち帰りを行っております。

また、2学期に入り、中札内小学校でも高学年が持ち帰りをし、家庭での活用の仕方について確認をしております。

ソニー・グローバルエデュケーションから寄贈を受けた教材「KOOV（クープ）」を活用したプログラミング教室を7月29日と8月1日に開催し、両日とも小学4年生から6年生の定員10名が参加して、LEDを光らせるプログラムのつくり方を学びました。

また、小学生を対象とした「キッズ・イングリッシュ」を8月3日に開催し、参加した22名の児童が、音楽に合わせて体を動かすアメリカの踊りなどで、楽しみながら英語を学びました。

地域協働型学校づくり協議会（コミュニティ・スクール）は、7月12日に第1回会議を

開催し、委員の委嘱と本年度の各学校経営基本方針の承認及び協議会の事業計画などについて意見を交わしております。

山村留学については、4月から1年生2名、6年生1名の計3名を受け入れてスタートしておりましたが、6年生が7月上旬に元の学校に戻りました。

上札内小学校での学校生活は3カ月ほどでありましたが、これまでの環境を少し変えたいということで山村留学を希望し、この間休みなく学校へ通い、学校行事でも主要な役割を担うことができ、学校へ通う自信がついたことと、来年度、中学校へ入学するため、早い段階で地元に戻って環境を整えたいということから転校となりました。

児童生徒の対外競技の参加状況では、野球少年団「中札内パワーズ」とバレーボール少年団「中札内スマイリー」は、6月・7月の十勝大会で優秀な成績を収め、9月に開催される全道大会の出場権を得ていたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大会が中止となりました。

全道大会に向けて練習し、好成績が期待されていたところでしたが、残念な結果となり、児童らには新たな目標に向かって進んでいただければと願っております。

社会教育活動では、ジュニアアウトドアスクールを7月27日・28日の1泊2日で、小学3・4年生35名と高校生ボランティア5名が参加して、上札内交流館を拠点に体験活動を行いました。

ポロシリ大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止から、修了式・入学式を延期して4月からクラブ活動を先行して行ってきましたが、7月9日に修了式と入学式を行っております。

「なかさつ音まちプロジェクト」では、6月26日に、村松健さんのミニコンサートを道の駅で3回開催し、翌27日には文化創造センターでファツィオリピアノリサイタルを行い、大勢の方が村松さんの心地よいピアノの音色に包まれていました。

7月25日には、「中札内村で音楽を楽しむ休日」として、道の駅を会場に、十勝で活躍している木管五重奏団「s o r a」の演奏が行われ、その後、文化創造センターで三國洸さんのピアノリサイタルを開催しました。

リサイタル終了後には、ピアノの試弾会があり、事前申し込みがあった6組の方にファツィオリピアノに触れていただきました。

また、文化創造センターでは、これまで村に絵画を寄贈いただいた栗原一郎氏の絵画展を、8月21日から9月20日まで開催しております。

日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会が帯広市・幕別町・音更町と中札内交流の杜を会場に2年ぶりに開催され、交流の杜では、無観客での試合となりましたが、8月15日から19日まで試合を行いました。

大会期間中は、交流の杜宿泊施設に東北代表チームの皆さんが滞在いたしました。

体育関係事業では、8月22日に村民スポーツ大会ソフトボール大会を開催しました。

うれしいことに、ホームラン賞が6本も出ました。

村民プールでは、6月22日から7月27日まで、一般向け、子ども向けの水泳教室や水中ウォーキングなど6講座24回実施し、151名の参加をいただきました。

ストレッチやトレーニングマシンの指導を受ける「トレーニング教室」を6月22日から7月13日まで、村民体育館において4回開催し、延べ29名の方が心地よい汗を流しました。

総合型地域スポーツクラブ「ピータンススポーツクラブ」では、楽しく体を動かすことを目的に、二つの特別企画事業を8月からスタートしました。

8月26日に「キッズダンス&リズム」を開催、「ベリーダンス教室」は10月まで6回実施いたします。

図書館事業の夏休み企画では、7月24日に「おはなし会夏休みスペシャル」、8月6日に「夏休み工作会」を行い、子どもから大人まで楽しんで参加していただき、図書館の利用促進を図ってきました。

また、先日新聞報道にもありましたように、村内在住の画家、真野正美さんの協力を得て、9月から図書カードを24年ぶりに更新しました。

ふるさとの風景と本を読んでいる子どもの2種類を暖かなイラストで描いております。

以上、主要事項について申し上げ報告に代えさせていただきます。

○議長（中井康雄君） これで各執行状況の報告は終わりました。

◎日程第7 意見書案第5号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

○議長（中井康雄君） 日程第7、意見書案第5号、コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を議題にいたします。

お諮りします。

この意見書案については、会議規則第39条第2項の規定により、提案理由の説明を省略したいと思えます。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第5号については、提案理由の説明を省略することに決定しました。

意見書案第5号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

意見書案第5号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

意見書案第5号、コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を採決いたします。

この意見書案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第5号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第8 意見書案第6号 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

○議長（中井康雄君） 日程第8、意見書案第6号、国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書を議題にいたします。

お諮りします。

この意見書案については、会議規則第39条第2項の規定により、提案理由の説明を省略したいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第6号については、提案理由の説明を省略することに決定しました。

意見書案第6号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

意見書案第6号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

意見書案第6号、国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書を採決いたします。

この意見書案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第6号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第9 請願第4号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願

○議長（中井康雄君） 日程第9、請願第4号、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願を議題といたします。

ただいま議題となっております請願第4号については、会議規則第92条第1項の規定により、所管の産業文教常任委員会に付託します。

なお、この請願の委員会審査は、この会期中に終了し報告願います。

◎日程第10 報告第3号 令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

○議長（中井康雄君） 日程第10、報告第3号、令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○村長(森田匡彦君) 令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、ご説明申し上げます。

令和2年度の中札内村健全化判断比率及び公営企業会計の資金不足比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、別冊の監査委員の審査意見を付してご報告申し上げます。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくお願いたします。

○議長(中井康雄君) 補足説明、川尻総務課長。

○総務課長(川尻年和君) 報告第3号、令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、説明を申し上げます。

黒ナンバー5番、議案書1ページをお開き願います。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律では、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものとして、四つの指標を定め、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し公表しなければならないとされております。

まず、1番目の健全化判断比率であります、①の実質赤字比率は、一般会計を対象とした指標、②の連結実質赤字比率は、全会計を対象とした指標で、本村では実質収支が黒字でございますので、①、②の表示はございません。

また、ひとつ飛びまして、④の将来負担比率についても、一部事務組合分を含めた地方債償還金や退職手当などの将来負担額に対して、将来充当可能な財源等の額の方が大きく、①、②と同様に黒字であることから、表示はされません。

次に、③の実質公債費比率は、地方債の返済額及び公債費に準じる額の大きさを財政規模に対する割合で指標化したもので、5.6となっております。

この比率について、当村における早期健全化基準は、右側に表示されております25.0%でありますので、指標から見た当村の財政状況は良好と言えます。

最後に、2、資金不足比率であります、これは公営企業会計ごとにおける資金の不足額の事業規模に対する比率で、簡易水道会計、公共下水道会計ともに、資金に不足が生じておりませんので、表示されておられません。

以上で補足説明を終わります。

○議長(中井康雄君) 説明が終わりました。

報告第3号、令和2年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率の報告については、報告済みといたします。

45分経ちました。

休憩をしたいと思います。

午前11時まで休憩いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時45分

再開 午前11時00分

○議長(中井康雄君) それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思っております。

◎日程第11 議案第49号 中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

◎日程第12 議案第50号 中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

◎日程第13 議案第51号 中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

○議長（中井康雄君） この際、日程第11、議案第49号から、日程第13、議案第51号までの中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについての3件を一括して議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） ただいま、一括議題に供されました公平委員会委員の選任について、ご説明申し上げます。

公平委員会委員であります榎志津子氏、知本正幸氏、高木達彦氏の3氏が、9月30日をもって任期満了となりますので、再度選任いたしたく、地方公務員法第9条の2の規定に基づき、議会の同意を得たくご提案いたしますので、よろしくごお願い申し上げます。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これら3件を一括して質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これらの事件は、人事案件ですので、討論を省略したいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、討論は省略することに決定しました。

議案第49号、中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについての採決をいたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議題第49号は、同意することに決定しました。

議案第50号、中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについての採決をいたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議題第50号は、同意することに決定しました。

議案第51号、中札内村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについての採決をいたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議題第51号は、同意することに決定しました。

◎日程第14 議案第52号 中札内村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を
求めることについて

○議長(中井康雄君) 日程第14、議案第52号、中札内村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○村長(森田匡彦君) 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

中札内村固定資産評価審査委員会委員のうち、松村則行氏が9月30日をもって任期満了となりますので、再度選任いたしたく、地方税法第423条の規定に基づき、議会の同意を得たくご提案いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長(中井康雄君) これで提案理由の説明を終わります。

議案第52号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

この事件は、人事案件ですので、討論を省略したいと思います。

これに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、討論は省略することに決定しました。

議案第52号、中札内村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについてを採決いたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議題第52号は、同意することに決定いたしました。

◎日程第15 議案第53号 中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めること
について

○議長(中井康雄君) 日程第15、議案第53号、中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

(森田匡彦村長登壇)

○**村長（森田匡彦君）** 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

中札内村教育委員会委員のうち、川田一幸氏が9月30日をもって任期満了となります。

このことを受けて、川田一幸氏については、引き続き教育委員会委員に選任したいと思います。

川田氏は、平成29年10月1日から務められておりますが、人格、識見ともに優れており、教育委員として最適と存じます。

なお、本委員の任期は、令和3年10月1日から令和7年9月30日までであります。

ここに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条の規定に基づき、議会の同意を得たくご提案いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

○**議長（中井康雄君）** これで提案理由の説明を終わります。

議案第53号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○**議長（中井康雄君）** 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

この事件は、人事案件ですので、討論を省略したいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○**議長（中井康雄君）** 異議なしと認めます。

したがって、討論は省略することに決定しました。

議案第53号、中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについてを採決いたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○**議長（中井康雄君）** 異議なしと認めます。

したがって、議題第53号は、同意することに決定しました。

◎日程第16 議案第54号 中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて

○**議長（中井康雄君）** 日程第16、議案第54号、中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題にいたします。

なお、中西千尋君は、地方自治法第117条の規定により、除斥の対象となりますので退場を求めます。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○**村長（森田匡彦君）** 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

中札内村教育委員会委員のうち、加藤淳司氏が9月30日をもって任期満了となります。

このことを受けて、上札内行政区在住の中西朋尋氏を新たに教育委員会委員に選任したいと思います。

中西氏は、昭和47年生まれで48歳で、平成15年に真宗大谷派同朋寺の寺族としてお勤めされ、平成30年8月から住職に就任されております。

また、教育の分野では、上札内小学校の地域PTA会員として各種学校行事へ積極的に参加され、平成30年からは中札内村地域協働型学校づくり協議会の委員で、上札内小学校CS部会の副部長として協議会の運営に携わっていただいております。

中西氏は人格、識見ともに優れており、教育委員として最適と存じます。

なお、本委員の任期は、令和3年10月1日から令和7年9月30日までであります。

ここに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条の規定に基づき、議会の同意を得たくご提案いたしますので、よろしく願い申し上げます。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第54号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

この事件は、人事案件ですので、討論を省略したいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、討論は省略することに決定しました。

議案第54号、中札内村教育委員会委員の選任につき同意を求めることについてを採決いたします。

この議案の選任について同意することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議題第54号は、同意することに決定いたしました。

中西千尋君の入場を許可します。

暫時休憩いたします。

それでは、再開いたします。

◎日程第17 議案第55号 土地改良事業計画について

○議長（中井康雄君） 日程第17、議案第55号、土地改良事業計画についてを議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 提案の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、札内川地区における畑地かんがい施設の維持管理について、補助を受けるにあたり、土地改良事業計画の概要を定めるため、土地改良法第96条の2第2項の規定により、議会の議決を求めるものであります。

詳細については担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（中井康雄君） 補足説明、成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） それでは、補足説明を申し上げます。

黒ナンバー18、議案関係資料1ページをご覧ください。

土地改良事業計画の概要を作成するにあたり、ご覧いただいております資料により説明を申し上げます。

まず、1の趣旨でございますが、土地改良事業計画について、札内川地区の畑地かんがい施設の整備が令和3年度に全て完了し、完了後の維持管理が関係する市町村に移管となることから、国の補助事業を活用するために、土地改良法に基づく事業計画を定めるものでございます。

資料右側の4をご覧ください、事業計画の内容でございますが、事業の名称は、基幹水利施設管理事業で、事業主体については、帯広市、中札内村、更別村、幕別町の4市町村となります。

管理につきましては、現在実施しております維持管理協議会において行うこととなります。

事業対象施設は、札内川頭首工1カ所及び札内川導水路6,980メートルとなります。

概算費用につきましては、令和2年度ベースで年間980万円となり、4市町村で定める負担割合で支出となります。

なお、中札内村については、負担割合が29%となりますので、980万円のうち284万2,000円の負担となり、経費の詳細は、頭首工及び導水路の定期点検、施設運用に係る電気代となります。

この事業での負担割合ですが、国が30%、道が30%、市町村が40%の負担となります。

下段、5のスケジュールについてですが、今9月の定例会において、4市町村の議決が整い次第、土地改良事業計画の概要を定め、来年度当初からの事業開始に向け、記載のスケジュール通り進めていくとしております。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第55号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第55号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第55号、土地改良事業計画についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第55号は原案のとおり可決されました。

◎日程第18 議案第56号 令和3年度中札内村一般会計補正予算について

◎日程第19 議案第57号 令和3年度中札内村介護保険特別会計補正予算について

◎日程第20 議案第58号 令和3年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について

◎日程第21 議案第59号 令和3年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算について

○議長（中井康雄君） この際、日程第18、議案第56号、令和3年度中札内村一般会計補正予算について、日程第19、議案第57号、令和3年度中札内村介護保険特別会計補正予算について、日程第20、議案第58号、令和3年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算について、日程第21、議案第59号、令和3年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算についての4件を一括して議題にいたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） ただいま、一括上程議題に供されました、各会計補正予算の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

はじめに、一般会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ3,248万4,000円を追加し、総額を53億9,806万6,000円に調整したものであります。

次に、介護保険特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ1,207万円を追加し、総額を3億3,381万8,000円に調整したものであります。

次に、簡易水道事業特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額に、それぞれ156万1,000円を追加し、総額を1億5,279万8,000円に調整したものであります。

次に、公共下水道事業特別会計であります。既定の歳入・歳出予算の総額から、それぞれ774万4,000円を減額し、総額を3億9,724万円に調整したものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、はじめに川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） それでは、一般会計補正予算の補足説明を申し上げます。

黒ナンバー7番、一般会計補正予算書をご用意いたします。

一般会計補正予算書により、歳出に係るある歳入の特定財源について、合わせて説明いたしますので、歳入では同様の説明を省略させていただきます。

また、概ね30万円以上の増額補正、減額補正について、説明を申し上げます。

最初に、12ページをお開きください。

最上段、1款、1項、1目議会費、説明欄最上段、議員研修講師謝礼30万円の追加は、議員の政策形成及び立案能力の向上等を図るため、議員研修に際して講師を招くもので、一般村民や南十勝における町村議員にも研修の開催を案内し、参加者を募るものでございます。

次に、その下段、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、説明欄中段、修繕料28万5,000円の追加は、次年度における旧役場庁舎の解体に向けて、旧役場庁舎と改善センターでつながっている電気及び電話の電線を切り離すものでございます。

次に、その下段、7目電子計算費、説明欄中段、健康管理システム改修委託140万円の追加は、成人健診データ標準化及び成人健診情報連携システム整備等への対応を行うもの

であります。

併せて、特定財源として、本システム改修に際して国庫補助金があり、104万4,000円の歳入を見込んでおり、追加するものでございます。

次に、13ページをご覧ください。

2項企画費、3目まちづくり推進費、説明欄中段、六花の森イベント事業補助金751万6,000円の減額は、イベント中止のため減額するものでありますが、中止決定まで、イベント開催に向けて執り進めてきた経費として、代理店への委託料及び次年度開催に向けて、「光の切り絵」のテストを実施した経費を差引いた額を戻入し減額するものでございます。

併せて、特定財源として充当していたふるさと活性化基金繰入金751万7,000円も減額するものでございます。

次に、その下段、3項徴税费、2目賦課徴収費、説明欄下段、税過誤納還付金100万円の追加は、村税の賦課徴収に関する過誤納に対し、予算不足が見込まれることから追加するものでございます。

次に、14ページをお開きください。

2款総務費、5項選挙費、3目衆議院議員選挙費、説明欄最上段、ポスター掲示板設置及び撤去委託93万5,000円の追加は、ポスター掲示板作成に係る木材の価格が高騰しているため、衆議院議員総選挙を見据えて、現行の予算額に追加するものでございます。

併せて、特定財源として、道支出金も同額追加するものでございます。

次に、その下段、3款民生費、1項社会福祉費、4目障害者福祉費、説明欄、返還金82万円の追加は、令和2年度における障がい者自立支援給付費国庫負担金及び道費負担金の精算による返還を行うものであります。

次に、その下段、2項、1目児童福祉費、説明欄最下段、精算返還金99万9,000円の追加は、令和2年度における子ども・子育て支援交付金等の精算による返還を行うものであります。

次に、15ページをご覧ください。

中段、4款衛生費、1項保健衛生費、5目予防費、説明欄中段、新型コロナウイルス予防接種業務委託470万7,000円の追加及びワクチン接種体制確保委託134万円の追加は、中札内村立診療所におけるワクチン接種において、国庫負担金交付要綱において、時間外接種を行った場合に接種費用に対して上乘せをされるとともに、接種体制の変更に伴う物品、消耗品等を購入したことによる委託料の追加となります。

併せて、特定財源として、国庫支出金を同額追加するものでございます。

次に、その下段、2項清掃費、2目墓地火葬場費、説明欄最下段、修繕料117万円の追加は、火葬場裏口のドア等を修繕するものであります。

次に、16ページをお開きください。

中段、6款農林業費、2項農業費、1目農業振興推進費、説明欄中段、堆肥化处理施設舗装補修工事130万円の追加は、堆肥化处理施設の原料施設前舗装補修及び原料施設内コンクリート補修を行うものであります。

次に、その下段、説明欄上段、堆肥化处理施設修繕工事704万円の追加は、堆肥化处理施設の第1次、第2次発酵施設の建築養生ネット及び第1次発酵施設の屋根雨漏りを修繕するものでございます。

次に、その下段、4目土地改良事業費、説明欄下段、道営担い手畑総事業札内川右岸北部地区負担金160万円の追加は、事業主体の北海道において、農道工及び区画整理等の工事

事業費の精査に伴い追加するものであります。

併せて、特定財源の農林業費負担金、道補助金を精査するとともに、公共施設等整備基金繰入金140万円を追加するものであります。

次に、その下段、説明欄最下段、道営担い手畑総事業札内川右岸南部地区負担金160万円の減額は、事業主体の北海道において、単独除礫等の工事事業費の精査に伴い減額するものであります。

併せて、特定財源の農林業費負担金、道補助金も精査しております。

次に、17ページをご覧ください。

3項畜産費、3目牧場費、説明欄上段、修繕料214万2,000円の追加は、除糞に係る作業効率の向上を図るため、堆肥舎前の通路路盤及び育成舎パドック支柱を修繕するものであります。

併せて、特定財源として、食と農業農村振興基金繰入金210万円を追加するものであります。

次に、その下段、説明欄中段、牧場用備品1,100万円の追加は、草地の施肥作業に係るヘリコプター散布費用の削減を図るため、クローラトラクターを購入して指定管理者が行うものであります。

併せて、特定財源として、食と農業農村振興基金繰入金1,100万円を追加するものであります。

次に、その下段、7款、1項商工観光費、4目道の駅関連施設管理費、説明欄、修繕料62万7,000円の追加は、道の駅豆資料館の暖房ボイラーが破損したため、修繕を執り進めるものでございます。

次に、18ページをお開きください。

上段、8款土木費、2項道路橋梁費、4目道路改修費、説明欄上段、調査設計委託148万4,000円の追加は、橋梁点検の結果、早期に補修措置を講じるべき橋梁があったことから、次年度に補修工事を実施可能とするため、対象橋梁の詳細補修設計を執り進めるものでございます。

次に、その下段、8款土木費、5項住宅費、3目村営住宅管理費、説明欄中段、修繕料256万4,000円の追加は、村営住宅における修繕が当初見込みよりも設備交換が増えたことにより追加するものでございます。

次に、戻っていただきまして、8ページをお開きください。

歳入についてご説明を申し上げます。

上段、10款、1項、1目地方交付税、説明欄上段、普通交付税4,103万円の追加は、臨時財政対策債が確定し、当初見込みから臨時財政対策債への振替額が少なくなったことから、その分を普通交付税に振替えるとともに、普通交付税で、今回の補正予算に対し、歳出に見合う額を追加して調整するものでございます。

次に、9ページをご覧ください。

上段、14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、説明欄最上段、地方創生臨時交付金711万2,000円の追加は、令和3年度に新設された事業者支援分について、当初は都道府県のみが交付対象でありましたが、市町村まで拡大となったことによるものでございます。

次に、10ページをお開きください。

下段、17款、1項寄附金、説明欄最下段、企業版ふるさと応援寄附金300万円の追加は、本村にゆかりのある企業から、道の駅改修事業に対する企業版ふるさと応援寄附金とし

て、寄附があったものでございます。

次に、11ページをご覧ください。

最上段、18款繰入金、財政調整基金繰入金700万円の減額は、臨時交付金の増額補正によるコロナ対策財源分を減額するものでございます。

中段、18款繰入金、介護保険特別会計繰入金214万6,000円の追加は、令和2年度分の介護給付費負担金及び地域支援事業に係る精算により、返還が生じることから、繰り入れるものでございます。

次に、その下段、21款村債、臨時財政対策債2,805万3,000円の減額は、臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴うものであります。

最後になります。

5ページにお戻りいただき、お開きいただきたいと思います。

第2表地方債補正は、臨時財政対策債について確定に伴い限度額を変更するものでございます。

以上で一般会計補正予算の補足説明を終わらせていただきます。

○議長（中井康雄君） 次に、高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） それでは、黒ナンバー8番、介護保険特別会計補正予算書をご用意いただき、7ページをお開きください。

歳出予算から説明させていただきます。

上段、4款地域支援事業費4項、1目包括的支援・任意事業費、説明欄、音響・照明等業務委託3万3,000円の追加は、十勝南部3町村合同在宅医療推進フォーラムの開催方式をオンライン形式へ変更し、その開催に伴う設定に係る委託費用を追加するもので、合わせて、7節報償費、講師謝礼を同額減額しています。

ページ中段、7款諸支出金、1項、2目償還金、22節償還金利子及び割引料、説明欄、国庫支出金等返還金992万2,000円の追加は、令和2年度介護給付費負担金等の額確定によるもので、国・道・支払基金における負担金並びに交付金の精算により、最終的に余剰交付となった額をそれぞれ返還するものです。

その下、2項、1目一般会計繰出金214万8,000円の追加は、国や道などと同様に前年度における介護給付費負担金及び地域支援事業分の一般会計からの繰入額を精算し返還するものです。

続いて、歳入を説明いたしますので、6ページまでお戻りください。

8款繰越金につきましては、令和2年度の決算認定をいただく以前ではありますが、前年度決算による繰越額として1,207万円を追加するものです。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 次に、成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） それでは、簡易水道事業及び公共下水道事業特別会計補正予算についてご説明申し上げます。

黒ナンバー9番、簡易水道事業特別会計補正予算書の7ページをお開きください。

1款簡易水道費、1目一般管理費の説明欄上段、配水池維持管理費、需用費、修繕料231万円の追加は、南札内浄水場に隣接する高区第2配水池の水位計が設置後35年を経過し、老朽化による故障が生じたため、取替修繕を行うものでございます。

財源につきましては、6ページの歳入をご覧ください、決算認定前ではありますが、繰越金を見込むことが可能でありますので、当初予算との差額156万1,000円を追加し、残りの財源を、7ページにお戻りいただき、説明欄下段、簡易水道事業基金費、積立金を7

4万9,000円減じて、財源調整するものでございます。

次に、公共下水道事業特別会計補正予算についてご説明いたします。

黒ナンバー10番、公共下水道事業特別会計補正予算書の8ページをお開き願います。

初めに歳出からご説明いたします。

1款総務費、1目一般管理費、説明欄中段、下水道事業費、14節工事請負費、終末処理場処理施設工事2,400万円の減額は、終末処理場処理施設設置工事のうち、予定しておりました最終沈殿池更新工事が、下水道の水質悪化の状態が依然として改善されず、工事ができない状況にあるため、工事を見送ることとしたことによるものでございます。

その上段、12節委託料、下水道調査設計委託1,600万円の追加は、前段で説明しました工事を取りやめたことにより、確定しています社会資本整備総合交付金を活用するため、次年度に予定しております実施設計を振り替えて実施しようするものでございます。

次に、2款浄化センター維持管理費、説明欄の備品購入費24万7,000円の追加は、水質試験器具であります定温乾燥器が8月下旬に故障したことにより、新たに購入するものでございます。

次に、7ページ、歳入についてご説明をいたします。

3款国庫支出金、1目下水道国庫補助金、社会資本整備総合交付金520万円の減額は、歳出で説明しました工事を取りやめ委託料を追加することによる差額を減額するものでございます。

最下段の7款村債の減額についても同様の理由によるものでございます。

次に、4款繰入金、一般会計繰入金25万6,000円は、今回の補正予算の財源調整を行うものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第56号から議案第59号、これらの4件を一括して質疑を行います。

質疑はありませんか。

1番木村議員。

○1番（木村優子君） 一般会計補正予算書15ページ、予防費、新型コロナワクチン接種事業費について、ご質問いたします。

村政執行状況報告書でも、中札内村診療所における新型コロナワクチンの接種体制が9月末で終了する予定という報告がございました。

今後、12歳以上になっていく児童には、その都度、接種券とご案内が送られる予定だと思えますけれども、その方たちの接種方法についてのご確認をしたいと思います。

あと、9月末までに検討しておられた方で、やはり接種をしたいという希望をされた方の場合の手続き方法についても確認させてください。

○議長（中井康雄君） 高桑福祉課長。

○福祉課長（高桑佐登美君） ただいまのコロナワクチンの関係のご質問ですけれども、12歳以降の方、そのお誕生日以降に受けられるということで、年度内の方にはその月の初めに接種券を送付する予定になっております。

10月については、村内で10月末までに使用できるワクチンがありますので、二日間ほど日程を取って、10月については村内で受けられるようなことで、今進めております。

11月以降については、ちょっと広域的で取組むことになるのか、もしくは、余剰ワクチンを融通するスキームが今検討されておりますので、それを受けて、診療所でできるのかどうかということは、今後検討していくことになっております。

いずれにしても、対象になった方については受けられる体制は取れるかというふうに思います。

9月末までに接種、やはりやってみたいということで新たに希望された方ということですが、恐らく12歳の方の接種と同じような体制でやっていくことになるのかなというふうには思いますが、すけれども、ちょっとそこも今検討中のところでございます。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はございますか。

7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 1点質問いたします。

16ページの農業振興推進費の堆肥化处理施設の舗装補修工事ですけれども、以前、全員協議会の中で説明がありましたけど、当初、通路の舗装等の改修にあたってはかなりの金額が出ていたのですけれども、今回、応急的な処置ということで130万円ほどの補修工事費ということで上っているのですけれども、先ほど、最初に合同調査報告にもありましたように、なるべく議会の方としても、ここ数年、堆肥化处理施設に関しましては、大きな金額、修繕費がかかっているの、なるべく工事費を抑えていただきたいというような報告もさせていただきます。

そこで、私もこの視察のときに見て驚いたのが、あそこの土地、盛土と言いましょか、造成をされて建てた建物なのですよね。

そのような状態の中で、舗装の下の砂利層が50センチメートルぐらいしか入っていないという説明を受けました。

あそこ、そういった造成地にもかかわらず、そういった少ない骨材で本当に、どうしてそういう設計になったのかわかりませんが、聞いて非常に驚いたのが1点でございます。

ここで使われている重機というのはかなり重たい機械だと思います。

15トンか20トンぐらいあるのかな。

そういった機械が頻りに動くようなところで、なぜそういった施工だったのかというのがちょっと疑問に思うのですけれども、多分、今年においては130万円ほどの応急処置ということでございますけれども、次年度についてはやはり改修をしていかなければならないのだろうというふうに思うのですけれども、なるべく工事費を抑えるということで、全面改修ではなくて半分ぐらいに分けて工事費を抑えるのか、それとも、全面改修にするのか。

その辺、また今後検討はされていくと思いますけれども、その辺、専門業者の方あたりも立ち会って、今までも打ち合わせをされたのかどうなのか。

その辺について、1点お伺いをいたします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 堆肥化处理施設の路盤修繕の関係ですけれども、8月19日の議会の合同調査の中でも、原料処理施設と発酵処理施設のところの路盤についてご意見をいただき、先ほどの報告にもあったとおり、経費については、作業工法も含めて、見直しも含めて検討していただきたいというご意見もいただいたところです。

それを踏まえて、村としましても、その後、検討作業の方を進めています。

その中で、今現状、凍上の影響はもちろん路盤全体的にはあるのですが、発酵処理施設側については、比較的影響が少なく原料処理施設側を中心に痛みが著しいという状況がございます。

また、昨年度、同様の工法で、発酵処理施設入口の路盤補修を行っているのですが、その

後1年が経過している段階では大きな問題が見られていないというようなところも確認しておりますので、現段階については、当初、村の方でも路盤全面をとということで検討はしていたのですが、概ね原料処理施設から半分程度、7メートル前後で路盤修繕で対応できるのではないかと考えているところです。

なお、路盤修繕の部分については、現状、この後工事を行っても、工事完了時点が冬期間になってしまうということで、路盤が落ち着かない段階でアスファルト工事になるということもありますので、この部分については、詳細も詰めながら、令和4年度当初予算計上を目指して、今後検討して、令和4年度に修繕工事を行いたいというふうに考えております。

○議長（中井康雄君） 7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 大体わかったのですけれども、多分この堆肥化工場、今後、屋根のトタン等も修繕が数年後には出てくるのかなということも考えられますし、その前、2、3年前からもやっぱり1億円ぐらいの修繕費かかっているのかな。

いろいろとお金がかかるのですけれども、この補装の部分の改修ですね、これについて、確かに工事費用を抑えるために、半分ぐらいの面積で済むのであれば一番ベターなのだと思いますけれども、仮につなぎの部分ですね、心配なのは。

片方は砂利1メートル近く入れて、片方は今までのところ50センチメートルぐらいですか。

そういった状態の中で、本当にこのつなぎのところでまた今後段差ができたり、そういった問題が生じないのかなというような不安もあります。

それであれば、もう最初から全面やってしまった方がかえって逆に安く収まる可能性もあるのですよね。

その辺もちょっと考慮しながら、なるべく専門の方と話をされて、長い目で見てどちらがいいのか。

その辺考えていただきたいなというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） ご意見をいただきました堆肥化処理施設の部分ですが、平成18年度の稼働から15年を経過して、先ほど、今回補正でも上げていますが、屋根の部分のタイトフレームの腐食、あるいは、柱も一部腐食が見られる。

今回、あと、路盤というのも凍上により凹凸がひどいということで、そういったところが見られて、改修の部分も多くなっているところではありますけれども、堆肥化処理施設については、建設当時は時代も変わってきてまして、今現在、例えば、家畜糞尿処理法も新しい処理技術というのもどんどん出てきているところでございます。

現在、指定管理の方は、堆肥化処理施設については、令和8年度まで、今指定管理をお願いしているところでもございます。

今後の堆肥化処理施設の在り方については、やはり令和8年度のちょうど指定管理の更新時期を目指して、もともと堆肥化処理施設は地域資源循環管理事業として位置付けられた施設ですので、その事業全体の在り方も含めて検討していく中で、その中でまた修繕とか改修も含めたところも併せて今後検討していければなというふうに考えております。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はございますか。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） それでは何点か質問をしたいというふうに思います。

ただいま、堆肥化処理施設の舗装補修工事ということで、宮部議員からも質問がありました。

考え方としては、先ほど、総務委員長の方から報告した中身のとおりであります。

今説明聞いていると、令和4年度整備をしたいという、こんなことの答弁がなされました。

それらを含めて、この補修工事については、いずれにしても補助がなし、あるいはまた交付税の見返りのある起債もないわけですね。

よって、全くの一般財源であるということで、非常に貴重な財源がつき込まれることになるのです。

それで、言いたいのは、必要最小限度である、いわゆる先ほど7メートルという言い方もしましたけども、必要最小限度の部分改修に努めて、ぜひそこら辺の経費の削減を図ってもらいたいというふうに思います。

先ほど、話のあった水漏れとか云々とかってありますけども、その辺は技術的に安くうまくいく方法もあると思いますので、十分その辺承認をする中で、今後研究をして、来年度の当初予算に計上していただきたいと。

こういうことを強く申し上げると同時に、受け止めていただきたいなというふうに私からも意見を出したいというふうに思います。

それと、17ページの牧場用備品1、100万円ということです。

先ほどの説明では、何かトラクター入れなければならないということのトラクターの購入の1、100万円というふうに聞こえたのですが、既存のトラクターも何台かあると思うのですが、それらでカバーできないものなのかどうか。

その辺の説明をしてもらいたいなというふうに思います。

それと、18ページの村営住宅管理費の修繕料です。

先ほどの説明では、当初予算に対して設備交換が出てきたので追加をしなければならぬということで、250万円ほど追加されているわけですが、もっと設備というのはどういう設備なのかも含めて、説明をいただきたいというふうに思います。

それと、公共下水道事業特別会計の方ですけども、8ページの終末処理施設2、400万円の減額ということで、先ほどの説明では、水質汚染のため工事ができないために減額をするという、そんなことで説明あったかというふうに思いますが、工事ができないこの部分については、今後どういうふうに考えておられるのか。

その辺について説明をいただきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 1問目の堆肥化については意見ということでよろしいですね。

堆肥化処理のことについてはご意見として伺いしてよろしいのでしょうか。

それではお願いいたします。

尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 1問目の堆肥化処理施設につきましては、先ほど、宮部議員のご質問の中でもお答えさせていただいたとおり、今後も含めて全体的に施設の在り方も含めてと費用対効果、そういったところも含めて検討していきたいなというふうに思っております。

2点目の大規模草地育成牧場の備品の関係でございますが、今回はクローラトラクターといって、いわゆるキャタピラ駆動、通常だとタイヤになっているのですが、それが全面キャタピラ型のトラクターを導入しようというものでございます。

先ほど、総務課長の補足説明でも説明したとおり、現在、放牧地の肥料の施肥作業については、雪解け後地盤が悪いということもございまして、ヘリコプターによる空中散布を行っております。

ただ、このヘリコプターの空中散布の費用が、年間大体250万円から300万円程度と

ということで、かなりちょっと高額になっているということもございまして、委託費を削減するために、今回、キャタピラ型であれば、ある程度タイヤ型の普通のトラクターですと、草地や路盤を深く掘ってしまうということもありますので、キャタピラ駆動によって設置圧が低くて、湿地帯あるいは傾斜地でも沈むことがなく、重牽引作業ができるということで、今回、このクローラトラクターを導入しようとするものでございます。

○議長（中井康雄君） 成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） それではまず、公営住宅の修繕の状況についてご説明をいたします。

設備の交換でございますが、当初ではストーブと給湯器を予定しておりましたが、実はここ数年、オール電化の住宅の設備が故障が多くなってございます。

今回につきましては、蓄熱暖房機、IHクッキングヒーター、電気温水器、さらには熱交換機型の換気扇を追加して補正をしないと対応しきれないということでの交換となっております。

次に、公共下水道の工事の減額、最終沈殿池の見送りでございます。

この部分については、この間もずっと説明していたとおり、なかなか下水道の状態が、施設の入ってくる処理の状態が良くないと。

最終沈殿池については2基あるのですが、1基ずつ、片側交互で今回部品の交換をということで検討はしていたのですが、片側でやるにはちょっと危険性が多いということで、ある程度の現状が回復しなければ、工事に向いていくということは厳しいかなという状況でございます。

現在見送った施設については、沈降剤を入れて汚染を浄化し流しているところの施設でございますので、その前の、前に言っていました微生物で処理をしていく処理槽が良い状態で稼働していかないと、最終沈殿池にまわってくる処理が厳しくなる。

現状、この間も何とかということなのですが、良くなった状況が続いたり、入ってくるものでまた悪くなってしまうという現状が繰り返されていて、なかなか現状回復が見込めていないというのが今の現状でございます。

その分の対処方法については、企業、さらには業者さんといろいろと詰めながら、何をしていたら回復するかということは検討しているのですが、その解消があってから、この工事については実施をしていこうというふうに考えているところでございます。

○議長（中井康雄君） 質疑の途中ではございますけれども、12時になりましたので昼食休憩させていただきたいと思っております。

それでは、午後1時まで休憩いたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午後12時01分

再開 午後 1時00分

○議長（中井康雄君） それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思っております。

午前中、黒田議員の質問に対して答弁をいただきました。

その続き、お願いしたいと思います。

3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） それでは、引き続き質問させていただきます。

17ページの牧場用備品の1, 100万円、キャタピラのトラクターを導入したいと。春先の非常に湿ったところで埋まるのでという話です。

話を聞きますと、非常にもっともで理解を非常にできるわけですが、言ってみると、トラクターも高く1, 100万円という多額な買い物になるのです。

よりまして、ちょっとこうしたらどうかなということをするのですが、例えば、追肥だと思えるのですが、春に追肥をやらなくて、閉牧前に埋まらないときに普通のトラクターで施肥はできないのかということと、非常に使用期間が短いというふうに理解されますので、リースあるいはまた委託の方法によると、そこら辺の比較をしてみるとどうなのかなということも感じますし、さらにまた1, 100万円ということで非常に高いものですから、中古車あたりを少し考えてみてはどうかと。

そんなことも非常に考えるわけです。

いずれにしても、大規模草地ということで、大型の農業機械が多いです。

新車で買うと非常に何千万円するというのは理解できるのですが、そこら辺も十分に考える中で考えるべきではないのかなというふうに思いますので、そこら辺の見解をお聞きをしたいというふうに思います。

それと18ページの村営住宅の修繕料ということで、約260万円ですか、追加されていまして、説明を聞くと、いろんな設備の交換をしたいと。

ストーブとかオール電化の故障が多いのでという話を聞きました。

よって、これらもいろんな設備ですから、一定程度年限来るとかなりあちこち傷みがひどくなって交換しなければならないということで、今回交換するのですが、できればそういうものを予測して調査をする中で、当初予算に組めるものであれば当初予算に組んで、みんなが快適な村営住宅の生活ができるようにということも考えるべきではないのかなというふうに思いますので、そこら辺の答弁をいただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 1点目の牧場用の備品のクローラトラクターの件です。

時期を見直してはというご意見もいただいたところですが、基本的にこれまで放牧地及び採草地の施肥については4月下旬ころに実施しているところです。

特に放牧地につきましては、5月下旬からは牛が順次放牧で入って、その牧区の牧草を食べることになりますので、当然、牧草の生育のことを考えると、4月の段階で、4月下旬には施肥をするというような状況ですし、また、採草地についても、当然6月下旬の一番草の刈入れのところを目指して、牧草の収穫作業というか、管理をしていきますので、基本的には4月下旬の施肥になるかなというふうに考えております。

2点目の導入にあたって、リースあるいは中古ということなのですが、この部分についても、指定管理者と協議をしまして、例えば、中古はあるのかというような話もこの間してきたのですが、今回導入しようとするのが、一般的には、いわゆる全部キャタピラとか、フルキャタピラのタイプのトラクターということになりまして、なかなか市場でその部分が、程度も良い中古が見つからないということもありましたので、今回、新車の方を導入しようというふうに考えてございます。

施肥作業、ヘリコプターについては、2、3日でこの間終了していたというところはございますけれども、当然、牧草地、面積もかなり広がっていますので、ヘリコプターよりは若干は時間はかかるかなというふうには思っていますので、稼働日数的には、ヘリコプターのときは2、3日で施肥を終わっていますけれども、それよりは長くなるかなというふうに思っていますし、今現在は行ってはおりませんが、例えば、放牧地の山沿い、あるいは、採草地

あたりですと、今は雪解けについては、ほぼ自然に融けるのを待って、その後からの作業ということになりますけども、このクローラトラクターを導入することにより、例えば、融雪剤を撒いて、採草地であれば施業の準備を早めることができるという工夫もできるかなということがありますので、今回1,100万円ということで予算計上をさせていただいておりますけども、それを踏まえながら、十分作業効率ですとか、あと、牧草の効果的な採草作業に有効的に使っていきたいなというふうに考えております。

○議長（中井康雄君） 成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） 公営住宅の修繕料でございます。

今、黒田議員おっしゃったとおり、設備については相当古いものでは平成5年から、もう30年近く交換をせず使っていただいているものもありますので、想定して当初予算でというのはごもっともなのかなというふうに思っております。

しかし、なかなか修繕料膨らんでおりますので、当初で組みすぎると多くなるので、なるべく抑えながら組んで、実績に応じて補正をしているというのが現状であります。

今年度も870万円程度、当初見っておりますが、昨年で1,000万円を超えた公営住宅の修繕料になっておりますので、当然これからさらに、今回追加したもの以外にも増えてくるかなというのも想定しております。

そういったものを含めて、今いただいた意見も参考に、当初でどれだけ組めるかということを検討しながら対応していきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 3番黒田議員。

○3番（黒田和弘君） わかりました。

ただ一つ、キャタピラのトラクターのことですけども、理由については理解できるのですが、なにせ大型機械ということで、とにかく備品と言えば何千万円と、こういうことでいろんな形で出てくるのですけども、リースで借りるとか、あるいはまた、他の農場に委託をした場合どれぐらいお金がかかるのか。

その辺の比較検討等もする。さらには、秋に追肥はできないのかとか、さっきもいろいろ言いましたけども、それぞれ理由によって、これ新車入れなければならないということの一边倒でなくて、やはり修繕をしたり中古車を買ったり、あるいはまたリース委託をする中で、その1,100万円のを半減する中で、その今言われる目標達成のために備品を揃えるというやっぱりそういう感覚を持っていかないと、とにかく村が購入してもらえるものと。

よって、少しいかれたら、はい新車何千万円、何千万円ということになると、幾ら村の方に財政があっても持たないというふうに思うので、今後ともいろんな形で備品の購入が出てくるかと思いますが、今後もそういった感覚で、ぜひ、最終的に新品を買わなければならないのであれば、新品を購入するということになるのですけども、そこまでいく過程として、いろいろと頭をひねってやっていただきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いします。

それではほかに質疑ございますか。

6番船田議員。

○6番（船田幸一君） 公共下水道事業特別会計の関係で、8ページなのですが、終末処理場処理施設工事ということで、取りやめということで、新たに下水道調査設計委託ということで1,600万円ということで、差し引いて800万円の減だということでご説明がありました。

実は、私ちょっとこれを見て、「んっ」と思ったのは、終末処理場処理施設工事を設計委

託するにあたって、設計委託費が事前に計上されていたと思うのですね。

新たにまた設計委託費という形で上がっていますが、これの差、あるいは、こういうふうに計上した経緯について、疑問にお答えをしていただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） 成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） 今回の、まず調査設計の委託については、令和5年度以降に発生する工事について前倒しをして設計をするということでございます。

今回の工事に合わせる設計ではないということ、まずご理解いただきたいと思うのですが、実は公共下水道の工事、さらには委託を実施するにあたっては、国からの交付金を受けて実施をしなければなかなか難しい状況でございます。

例年であれば、4割から5割程度の補助しかつかない中で実施をしているのですが、今年度は、これまでの要望に応じていただいたのだとは思いますが、9割程度補助が確定額として付きました。

今回は、全事業ができるというふうに思っていたのですが、工事の部分については、先ほど説明したように不具合があって、ちょっと工事は進めることができないと。

せっかく付いた交付金、無駄にするということになりますし、さらには確定額の変更については、なるべく確定した額は執行してほしいという国からの話もあることから、前倒しで設計費を組むということで今回は計上しているという状況でございます。

○議長（中井康雄君） 6番船田議員。

○6番（船田幸一君） わかりました。

ただ、基本的に工事を中断するということになると、今までその設計委託等をした部分のお金について、それは交付金であろうと何であろうと、やはり、はたして妥当な費用を計上したのかという部分にかかわってくると思うのですね。

だから、そういったものについて、やっぱりこういう説明をされるときに、提案をされるときに、もうちょっと中身を詳しくご説明をされた方が良かったのかなと思います。

そんな意味を込めまして質問をさせていただきましたけれども、またいろいろと疑問点等、また、私どもの提案等がありましたら、お聞き願いたいと思います。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いしてもよろしいですか。

それではほかに質疑はございますか。

5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 先ほどから黒田議員の農業関係で話していたのですが、ちょっと自分の考え方と違うかな、経営の仕方違うかなという部分もあるのですが、前にも説明いただいたのだけでも、買うのと、それから委託するのと、300万円かかるから何年間経ったら元取るよという話なのだろうけど、その1、100万円のトラクターに関しては、融雪以外考えていないのかなということと、それから、維持管理はどういうふうに計算しているのかなという部分をちょっと聞いてみたいと思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 基本的に今現在、当初使用することについては、使用する目的というか、内容については、春先の施業、あるいは、融雪剤を散布するというところを中心ということで、今現状は考えているところです。

当然機械を導入すれば、その維持管理に係る経費の部分は、当然また新たに発生してくるかと思えます。

ですから、委託料でいけば、年間250万円から300万円ぐらいは経費は削減されるのかなというところはありますけども、別途、それに伴って、例えば燃料代ですとか維持管理

の部分は発生するかなというふうには思っていますけども、この部分についても、そこは指定管理者ときちっと話ながら、やはり経費の節減、今、牧場管理費、総体的に決算額で見ても、年間1億6,000万円ちょっとぐらにかかっていますので、やはりこの部分、経費、少しずつやはり下げていくということも必要になっていきますので、その部分については、指定管理者とも協議をしながら、経費の節減には努めていきたいというふうに思っています。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 言うとおりのかもしれないけども、一つ言いたいことは、不便だから機械を買うわというのとは何か当たり前に出てくるような気がして仕方がないのですよね。

先ほど話した堆肥化施設の問題も、修理修理でどんどん出てくるのですけども、今堆肥が全然間に合わないというぐらいの注文があるのに、その6割ぐらいしかできないとか、そういうことに関して、屋根の修理もしなければいけない、あそこの道路も修理をしなくてはいけない、当たり前に出てくるのだけでも、それでは、これから堆肥をどうやっていっばい作るかというそういう話も持ってこなくてはいけないと思うのですよ。

今の機械も同じです。

不便だから買います。

そうではないのですよ。

農家はもっともっと我慢しながら機械を買っているのですよ。

村に言えば金が出るということではないのですよね。

その辺もしっかり考えていただかないと。

堆肥は高くついて、今また今年値上げしたはずですよ、堆肥も。それから生産量も出ていない。それで、来年は今度施設の中に、今屋根の下に安全のためにネット張った。これ700万円かかっていますね。

けども、今年6,000万円というところが百何十万円で終わったのだけど、そこにまた追加の金が出る。

屋根が全部だめになる。

こういうことになっていったときに、莫大な金をかけながらやっているわけですよ。

そんなことも必要なのだろうけども、もう少し堆肥をドンとつくることを考えるような、村に要求するような、そういうシステムをつくっていかないと。あまりにも、村のものだから金を要求すればすぐ出てくるというそういうスタイルでは困るので。

やっぱり指定業者なんかともその辺十分話し合いながら、やっぱりいいものをつくる。やっぱりどうやったら長持ちをするのか。

そういうものを十分考えながら、そういう予算を組みながら、あれしていただきたいと。

とにかく修理費ばかり出てくるのが、我々にしたらこんなにかかるのかというぐらい出てくるわけですよ。

けども、いいものをつくって、大量につくってやっていくというのも、これ堆肥化施設のあれだし、牧草地もそうです。

買えばいいのでなくて、やってもらった方が本当は楽なのですよ。

安いし、維持管理費、そのトラクターも壊れることもある、燃料も食います。

そしたら後に付ける機械はどうなるのですかということも、また買わなければならないでしょ、多分。

そういうことも含めながら、そういうことを考えながらやっていかないと、もう村に言えば何でも買ってもらえるという、そういうものはやっぱり少し考えなおしていただきたい

と思うのですがいかがなものですか。

○議長（中井康雄君） 山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 今、北嶋議員の方から質問があったことについてであります、まずは指定管理者との委託の中で、これまでもご指摘を受けているとおり、いかに経費を削減するかと。

委託料の削減をいかにするかということが、収入として受けられるその牧場の使用料とかかる費用ができるだけ均衡すると。

そのためには経費を削減しなければならない。

そんなときに、ヘリコプターの散布に250万円から300万円、毎年度のようにかかっていると。

それを考えたら、新品かどうかという黒田議員のお話もありましたので、経費の節減には当然取組まなければならないことは十分理解していますし、言ってみれば、そういった部分については、指定管理者が言ってきたからクローラトラクターを入れようとかという発想ではありません。

経費の削減をするためにはどうしていったらいいかと。

今使っている経費を、どの部分を見直せば、その部分の経費を恒常的に削減することができるかという視点で、今回クローラトラクターの導入を決めたものであります。

併せて、堆肥化処理施設の関係も、質問として今出されましたので、堆肥の生産量については、今のあの施設の中で最大限生産はしています。

所管事務調査のときに、たまたま発酵施設の中が全部埋まっていなかったというお話もちよっと所管事務調査後の懇談会のところでお話もありましたけれども、現実的にはきちんと、その良い堆肥を生産するための作業はしっかりやっております、そんな中ででき上がるのがあそこまでの堆肥の生産量ということでございます。

当然、堆肥の生産を増やすということは、原料を受け入れ、それを攪拌し発酵させる施設をさらに追加する。

こういったことも出てきてしまいますので、将来的なその施設の在り方、堆肥化処理施設の在り方を十分検討した上でないと、なかなかそこには手は出せないのかなということでございます。

全く検討しないということではないというふうには思いますが、今後の堆肥の処理の方法、そういったものもいろいろ変容が出てきているようです。

そういったところもにらみながら、堆肥化処理施設の在り方も併せて、今回こういう大きな経費をかけることになってしまいますので、そういったところも含めて十分検討して対応を取っていききたいというふうに考えているところでございます。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 言わんとすることもわかりますけども、あくまでも、こういう問題があるということに対して、村が答弁をして言い訳するような回答だけはやめてくださいよ。

やっぱりそれは、指定管理者なりと話をしながら、やっぱり議会は議会としての意見を出しているつもりだし、今、リースと言うけどどういうリースで、農家にも今、あの雪上車のいい改良したものがいっぱいあるわけですよ。

そういうものも融雪してくれる人もいますので、そういうものも十分検討しながらということをお願いいたしますよ。

リース会社とか何かからいったら、ヘリコプターなんかだったら高いけども、農家に今、雪

上車の改良した融雪車がいっぱいありますよ。

そういうものも検討して、最後にどうにもならないというのならいいのだけでも、とにかく出せば村で面倒見てくれるよみたいところが、我々はそういうふうに見えるわけですよ。

だからいろんな検討をしながら、それから我々が答弁したものを、言い訳みたいな答弁しないで、やっぱり我々の議会で言ったことを相手側に伝えて、それから検討するという形にしていっていただかないと、あまりにも村がそういうふうには答弁をしていくと、向こうはまた言えば来るのだわという考えになると思うので。

難しいと思うのですが、いろいろわかってものは話しているつもりですけども、やっぱりもうちょっと厳しさがあってやっていかないと、村丸抱えですよという考えの中では、これからはあまり何事もこれからは決算委員会もありますけども、そういうふうには前向きでなくて、そういう検討をしながらやっていくという形の中で、村におんぶですよという考えは止めていただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） それではご意見としてお伺いしたいと思います。

ほかに質疑はございますか。

2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 1点お聞きします。

10ページの企業版ふるさと応援寄附金、それから、村長はご説明をいただきました寄附金の300万円の使い道等々、ご説明をいただきましたけども、この金額は一般のふるさと納税の金額のところに入るものか。

これは別に指定があって、先ほど村長が申されましたように、道の駅改修の魅力アップにしようという項目でお話しましたが、この内容、もしわかればお知らせをいただきたいのですが。

○議長（中井康雄君） 渡辺総務課課長補佐。

○総務課課長補佐（渡辺大輔君） それでは、企業版ふるさと納税について説明申し上げます。

まず、この制度につきましては、国が認定した地方公共団体の地方創成のプロジェクトに対して、企業は寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除される仕組みの制度でございます。

今回、本村にゆかりのある辻木材様から、道の駅の魅力向上に向けての改修事業費について寄附をしたいという申し出がございまして、そちらに充てることにしております。

こちらは一般のふるさと納税とは違いまして、基金に積むわけではなくて、このまま一般財源として道の駅の改修事業に充てるということになっております。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 内容はわかりました。

それでは今進めている道の駅改修、魅力アップにそのまま使用していくということでの理解でよろしいですか。

○議長（中井康雄君） それでは、ほかに質疑はございますか。

なければ、これで質疑を終わります。

議案第56号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第56号、令和3年度中札内村一般会計補正予算についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

議案第57号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第57号、令和3年度中札内村介護保険特別会計補正予算についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

議案第58号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第58号、令和3年度中札内村簡易水道事業特別会計補正予算についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

議案第59号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第59号、令和3年度中札内村公共下水道事業特別会計補正予算についてを採決いたします。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(中井康雄君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

◎日程第22 認定第1号 令和2年度中札内村一般会計歳入歳出決算認定について

◎日程第23 認定第2号 令和2年度中札内村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

- ◎日程第24 認定第3号 令和2年度中札内村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎日程第25 認定第4号 令和2年度中札内村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎日程第26 認定第5号 令和2年度中札内村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎日程第27 認定第6号 令和2年度中札内村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

○議長（中井康雄君） この際、日程第22、認定第1号から、日程第27、認定第6号までの令和2年度中札内村各会計歳入歳出決算認定についての6件を一括して議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） ただいま、一括上程認定議題に供されました、各会計決算の提案の趣旨についてご説明申し上げます。

令和2年度の各会計決算がまとまり、監査委員による決算審査も終わりましたので、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の審査意見を付して、議会の認定をお願いするものであります。

主要な施策の成果並びに実績報告書、財産調書を提出しておりますので、内容をご精査いただき、認定くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（中井康雄君） 続いて、監査委員の決算審査意見を求めます。

木村代表監査委員。

（木村誠代表監査委員登壇）

○代表監査委員（木村誠君） それでは、令和2年度決算審査のご報告をさせていただきます。

地方自治法第233条第3項の規定により、令和2年度各会計歳入歳出決算審査を終了し、令和3年8月24日、村理事者に決算審査意見書を提出いたしました。

審査期間は、令和3年7月29日に現地調査を行い、7月30日から8月6日までの土曜日、日曜日を除く6日間の日程で行いました。

審査中、軽易な点については各課長を通じ個々に指摘し、改善と対応を求めています。決算審査の主な内容はお配りしています決算審査意見書をお読みいただければというふうに思います。

以上、監査報告とさせていただきます。

○議長（中井康雄君） 以上で、提案理由の説明及び代表監査委員からの決算審査意見が終わりました。

お諮りします。

本日の会議はこれまでとし、明日10日から12日までは議事の都合により休会し、13日午前10時から本会議を再開したいと思います。

このことに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

よって、次回は13日午前10時から本会議を再開することに決定しました。
本日はこれをもって延会いたします。

延会 午後 1時33分